

平成19年度 事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課				内線等	94 -1195
事務事業名	競艇場内外清掃事業				事業 コー	1 . 一般事務事業 (ソト事業)		
根拠法令等	モーターボート競走法				A法令			

総合計画での位置付け

基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象 (受益者)	場内への入場者に対して
手 段	競走場内外の清掃を実施することによって
想定する成果	競走場の清潔の保持を確保する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
年間ごみの量	178,370kg	188,310kg	194,385kg
開催日数 (日)	180日	186日	192日

成果指標

成果指標名	1日当りごみの排出量
成果指標の説明	年間ごみ量 / 開催日数

事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算 (実績)				平成19年度決算 (実績)				平成20年度予算 (計画)			
成果指標		991kg				1,012kg				1,012kg			
成果指標													
事業費	事業費	109,514				85,636				107,069			
	人件費	3,114				3,594				1,114			
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.0	正規	0.4	非常勤	0.2	正規	0.05	非常勤	0.3
	合計	112,628				89,230				108,183			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	112,628				89,230				108,183			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	場内及び周辺的环境美化の保持が達成されている。
経済効率性	3	2	2	2	民間清掃業者に委託しており効率化を図っているが、より経費削減に努める。
事務効率性	2	2	2	2	民間清掃業者に委託しており事務効率の向上を図っている。
必要性	2	3	3	3	場内及び周辺的环境美化のため必要である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	場内及び周辺的环境美化は、お客様の来場を促進するとともに競艇事業に対して地元の理解を得るためにも必要である。
合計	11	9	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	場内外の清潔保持、環境美化は不可欠である。経費削減により一層の努力を要する。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
競艇場全体でごみの減量化。売店商品の包装の簡易化を検討していきたい。
上記改善点の実施状況
ごみの減量化の問題は競艇場だけではなく社会的な問題である。商品は多様化、小袋化しておりごみ量は増加傾向にある。また、現状は入場者数の減少に歯止めがかかっているが、ごみの量はそれ以上の増加を示している。

今後さらに改善すべき点

現在行っている「ごみの即時片付け」をより徹底して、清潔な場内を維持する。

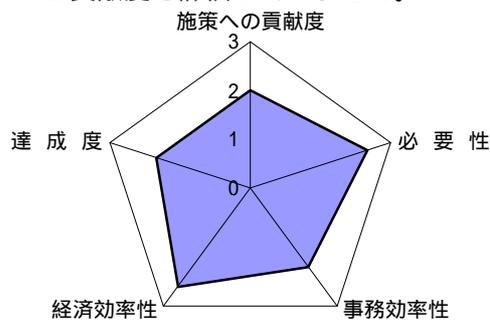
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点